

## 令和4年度第1回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	令和4年7月27日(水) 午後1時30分～
場 所	社会福祉センター 小会議室
出席者	<委 員> 湯川委員長、野村委員、矢口委員 <事務局> 契約検査課 <担当課> 選挙管理委員会事務局、市民課、水道課、下水道課、健康推進課、学務課、広報課、社会教育課、社会福祉課
<b>【議事概要】</b>	
<b>○議題1 入札・契約の手続きの運用状況等について</b>	
令和3年10月1日から令和4年3月31日までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告しました。	
<b>[主な質疑]</b>	
(質問) 指名停止の案件についての質問です。有限会社丸山クリーンの指名停止理由として、「事業の履行を続行することができない」との申し出があったとのことですが、具体的な理由はどのようなもののでしょうか。	
(回答) 同社の従業員が退職したことにより、事業を履行するために必要な人数を確保することができなかつたためと伺っています。新たな従業員の雇用に向けて努められたとのことでしたが、前従業員の退職までに間に合わなかつたため、契約解除となりました。	
<b>○議題2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について</b>	
令和3年10月1日から令和4年3月31日までに実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽出した10件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。	
<b>[主な質疑]</b>	
案件① 令和3年度衆議院議員総選挙の選挙事務補助業務委託 (選挙管理委員会事務局・随意契約)	
(質問) 契約者を「公益社団法人 佐倉市シルバー人材センター」とした理由と、落札率が53.2%と低くなつた要因について教えてください。また、選挙事務の補助業務とのことですが、民間の方が従事されて問題がない業務なのでしょうか。	
(回答) 業務内容は、駐車場案内やアルコール消毒の呼びかけなど、選挙事務の補助	

業務であり、高齢者の方でも対応できる軽易な業務となっており、過去にも受注実績があります。そのため、高齢者の就業機会の確保などを目的として、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に基づき、同センターと契約をいたしました。

落札率が低い理由として、金額設計を行う際、公共工事の交通誘導警備員の単価を用いています。シルバー人材センターで規定している単価と異なるため、落札率が低くなったものと考えております。

案件② 佐倉市市民課窓口業務等委託（市民課・一般競争入札）

（質問）（予定価格が116,389,746円と）多額な事業ですが、名簿登録者数1266者と比較して、入札参加申請者及び入札者が1者と少なく、競争原理が働いていないのではないのでしょうか。

（回答）本業務委託はこれまで、公募型プロポーザル方式によって広く募集した上で相手方を選定し、随意契約を結んできました。しかしその際も、応募された参加申請者は1者となっていました。

（質問）人材派遣とは異なると存じますが、業務遂行のための指揮系統はどのようになっているのでしょうか。また、受注者側の従業員の対応にミスがあり、それによって市民の方に損害を与えた場合の対応や責任関係はどうなっているのでしょうか。

（回答）業務委託のため、窓口業務に従事している受注者の従業員は、委託先からの指揮を受けています。市民の方に損害を与えた場合は、受託者である受注者の責任となります。

（質問）サービスを受ける市民にとっては、窓口対応者が職員なのか、そうでないのかを明確に認識できるようにすることが大事だと考えています。受注者の従業員が窓口業務に従事する際、その業務を委託していること、その方が市役所職員ではないことは、市民の方に開示され、区別できるようにされているのでしょうか。

（回答）はい。受注者の従業員の方は、正規職員とは異なる名札を着用されており、認識できるようにしています。

案件③ 21改水-14六崎・石川地先水道管耐震化工事（水道課・一般競争入札）

（質問）低入札となった理由についてお尋ねしたいと思います。落札率が67.8%と低いものでしたが、事業の円滑な実施に支障がないかという点についてもお聞かせください。

（回答）低入札となった理由として、落札業者が市内事業者であるため、自社や資材

置き場から施工現場までの距離が近いこと、本工事の自社施工が可能であるため諸経費を軽減できること、材料費は長年取引のある商社の協力を得られること、仮設材などに自社で所有しているものを使えることなどが挙げられます。

また、年度をまたぐ工事であり、手持ちの受注事業が少ない業者がいることから、価格競争が働いたと考えます。

事業の進捗状況は現在、約30%となっています。工事は滞りなく進んでおり、工期内に完成する見込みです。

案件④ 令和3年度検定満了分大口径水道メーター購入（バーター方式）

（水道課・一般競争入札）

案件⑤ 令和3年度検定満了分小口径水道メーター購入（バーター方式）

（水道課・一般競争入札）

（質問）複数単価契約となっていますが、落札率が、④が44.6%、⑤46.3%と、低くなっています。単価契約で落札率が50%を下回ることは珍しいのではないかと思います。業務に支障はないでしょうか。

（回答）メーター購入にあたっては、新品購入代金から発注者が引き渡すメーターを下取りし清算する、バーター方式となります。落札率が低くなった理由としては、ある程度のまとまった数を発注することで経費が削減できるためと考えています。業務の履行についても、水道法やJIS規格などに適合した製品が納入され、十分な品質を確保しており、事業に支障はありません。

（質問）購入する口径の水道メーターは、大量生産が可能な既製品でしょうか。

（回答）はい、そのようになります。

案件⑥ PBC2117 中志津五・六丁目地先下水道管渠改築工事（下水道課・一般競争入札）

（質問）低入札となった理由についてお聞かせ下さい、落札率が66.5%と低いものでしたが、事業の円滑な実施に支障はないでしょうか。

（回答）落札率が低くなった理由について事業者に聞き取りを行ったところ、過去に同規模事業の受注経験があり、かつ、手持ち事業が少ない時期に工事を行うことから、効率的に工事を進めることができ、労務費の低減を図ることが可能とのことでした。

事業の実施状況ですが、工期は令和4年3月31日から11月28日で、6月30日現在、進捗率が54%となっております。先日、中間検査も行い、順調に進んでいるものと考えています。

案件⑦ 佐倉市休日夜間急病診療所医療事務用OA機器等の賃貸借

(健康推進課・一般競争入札)

(質問) 入札者が1者と少なく、落札率が100%になった理由について、どのようにお考えでしょうか。この落札者は、他の事業で、低く落札された案件もあります。

(回答) 落札率が100%となった理由として、本事業がOA機器の賃貸借であり、半導体が不足し、原材料が高騰傾向にあるため、機器類のハード面の価格を抑えての入札が困難であったと考えています。入札参加申請者が2者、入札者が1者となったのも、上記理由によるものと考えています。

(質問) PC機器の価格高騰によるところが大きい、という意味でしょうか

(回答) そのように考えています。

(質問) 入札を辞退した事業者の辞退理由を教えてください。

(事務局) 入札辞退届には、「会社都合により辞退」との記載がありました。

案件⑧ 令和3年度クラウド型フィルタリングソフト購入(学務課・一般競争入札)

(質問) 本事業の契約者は、他の事業において、落札率100%で落札されたものもあるのに対して、本事業の落札率が51.5%と低く、事業の円滑な実施に支障はないでしょうか。特に、ソフトウェアの質などを心配しています。

(回答) 落札率が低くなった理由として、今回導入しているソフトは、文部科学省が進めているGIGAスクール構想に基づくものであり、全国の各自治体で、同様の調達がなされています。そのため、ソフトを取り扱う事業者間で競争が働いたことが、落札率が低くなった理由と考えます。また、今回導入したソフトのメーカー元から、全国的な需要拡大を受けて、安価で卸せる状況になっていると伺っています。

導入したソフトについては、佐倉市の周辺自治体と同じ製品を導入していると伺っており、現状、運用に支障は出ておりません。

案件⑨ 令和4年度CATV佐倉市広報番組制作業務委託(広報課・一般競争入札)

(質問) (予定価格14,971,209円と)比較的多額な事業で、名簿登録者数と比較して入札参加申請者および入札者が1者と少なく、落札率は99.9%と高くなっています。競争原理が働いているのか疑問です。

(回答) 入札参加申請者および入札者が1者と少ない理由として、取材場所は佐倉市内が中心となるため、市から遠い業者には利益面のメリットが少なかったのではないかと考えられます。

(質問) 広報番組の内容について教えてください。また、市内でケーブルテレビを見ることができる世帯はどのくらいでしょうか。

(回答) 広報番組「Weekly さくら」は、1回20分番組で、市内の出来事を紹介する「ニュース」、市内を楽しく紹介する「コーナー」、「特集」の3本立てです。特集では、他課と協力し、佐倉市の魅力を伝えています。

視聴世帯数は、市内7万8000世帯のうち、ケーブルネットを視聴できる世帯は約4万4000世帯、54%となっています。特集部分については、放送終了後、YouTubeの佐倉市公式チャンネル「さくら動画配信」で掲載し、どなたでも視聴することができます。

案件⑩ 夢咲くら館造作備品購入（社会教育課・一般競争入札）

(質問) 予定価格が2億円を超える事業ですが、名簿登録者数と比較し、入札参加申請者数および入札者が1者と少なく、競争原理が働いているのかが疑問です。

(回答) 入札参加申請者数および入札者が1者となった理由として、家具の材料である木材価格や運搬費の高騰などにより、応札が難しくなったのではないかと考えます。

(質問) 入札の参加申請時の実績要件として、「9万冊以上の書架の製作・納入の実績」を求めています。夢咲くら館では、図書の実定収容冊数はどのくらいでしょうか。

(回答) 書庫の本も含めて、合計16万冊を予定しています。内訳は、開架分が9万冊、書庫は集密式書架で7万冊の予定です。

(質問) 16万冊というのは、近隣市町や市内の他の図書館と比較して、多いのでしょうか。夢咲くら館は、市立図書館の中でどのような位置づけとなるのでしょうか。

(回答) 市内の図書館においては、佐倉南図書館に20万冊、志津図書館に30万冊を収容しています。夢咲くら館は、複合施設であり、図書館だけでなく、新町地区の活性につながる施設となっています。

○議題3 プロポーザル方式による受注者の選定結果等について

令和3年10月1日から令和4年3月31日までに実施したプロポーザル方式により業者選定を行った2件について、事業担当課職員による選定結果報告及び質疑応答を行いました。

案件① 佐倉市立図書館システム更新事業（社会教育課）

(質問) プロポーザル方式で実施した経緯と事業内容について教えてください。

(回答) この事業は、令和5年2月に賃貸借期間が満了する佐倉市立図書館の図書館システムの更新にあたり、既存の図書等の貸出・返却、機器の保守などだけでなく、利便性の向上による図書館利用者の獲得や業務の効率化等を図る

ことができる新システムを導入するものです。

今回のシステム更新では、利用者の利便性の向上を目的に、図書の貸出・返却などの通常の図書館システムの導入に加え、デジタルアーカイブの導入なども行います。そのため、事業者から有益な提案を受けることにより、機能面・運用面・価格面等から総合的に評価することができるプロポーザル方式を採用しました。

公募したところ、4者の応募があり、価格面、提案内容などを総合的に評価し、決定いたしました。

(質問) 図書館の現在の利用状況について教えてください。

(回答) 利用者の傾向として、若い世代の利用が少なく、高齢の方の利用が多くなっています。佐倉では、子育て支援にも力を入れておりますので、審査においても、若い世代の方に関心をもっていたいただけるような提案かどうかという視点も含めて行いました。

#### 案件② 令和4・5年度 佐倉市生活困窮者自立支援事業委託（社会福祉課）

(質問) プロポーザル方式で実施した経緯と事業内容について教えてください。

(回答) 本事業は、生活保護に至る前の段階に置かれた生活困窮者の自立と尊厳を守るよう、自立相談支援、就労支援、家計改善支援および住居確保給付金の支給など、状況に応じてきめ細やかな支援を行うものです。

そのため、業務の質の維持・向上を図るよう事業の内容・経験・実績を中心とした総合的な評価を行うことが適切と判断し、プロポーザル方式で実施しました。

(質問) 福祉的な性格が強い事業かと思います。公募ではなく、最初から随意契約で社会福祉協議会に託すことは検討されたのでしょうか。

(回答) 前回までは、社会福祉協議会に委託をしていました。今回、結果として社会福祉協議会と契約をいたしました。今回、結果として社会福祉協議会と契約をいたしました。今回、結果として社会福祉協議会と契約をいたしました。今回、結果として社会福祉協議会と契約をいたしました。